



2025年1月6日

各位

会社名 株式会社ダイセキ
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 山本 哲也
(コード番号9793 東証プライム・名証プレミア)
問い合わせ先 常務執行役員企画管理本部長 片瀬 秀樹
(電話番号 052-728-1155)

通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年1月6日開催の取締役会において、下記のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年4月4日に公表いたしました2025年2月期（2024年3月1日から2025年2月28日まで）通期の連結業績予想を修正することとし、またこれを踏まえて、2024年2月期配当予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。なお、本件は2025年5月開催予定の第67回定時株主総会に付議する予定であります。

1. 通期連結業績予想の修正について

①2025年2月期通期連結業績予想数値の修正（2024年3月1日～2025年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 65,600	百万円 14,000	百万円 14,100	百万円 8,700	円 銭 178.33
今回修正予想（B）	66,000	14,600	15,000	9,300	193.23
増減額（B－A）	400	600	900	600	
増減率（％）	0.6	4.2	6.3	6.8	
（参考）前期実績 （2024年2月期）	69,216	14,814	15,452	9,465	193.06

② 修正の理由

当社グループの今年度は、政治情勢の変動による原油などのエネルギー価格や原材料価格の高騰、人件費上昇、物価上昇の影響を受けたものの、国内各エリアにおいてシェアアップを図ることにより、事業を拡大してまいりました。また、世界的にカーボンニュートラルへの動きが本格化する中、当社グループのリサイクル中心の処理方法やリサイクル燃料に対する社会的評価は一段と高まってまいりました。株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壌汚染処理関連事業が、前年に受注した大規模土壌処理案件が終息したことにより大幅な減収減益となったものの、株式会社ダイセキの新規工場取引獲得によるシェアアップや、リサイクル燃料の出荷が好調に推移したこと、株式会社ダイセキMCRが手掛ける鉛リサイクル事業が、円安による鉛相場の高止まりや、再生鉛の国内相場が引続き堅調に推移したこと等により、売上、利益共に計画を上回ったため、連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたします。

（注）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。



2. 配当予想の修正について

① 配当予想の修正の内容

基準日	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2024年4月4日発表)		33円	66円
今回修正予想		39円	72円
当期実績	33円		
前期実績 (2024年2月期)	30円	36円	66円

② 修正の理由

当社は、株主各位への積極的な利益還元を実行していくため、業績に対応した配当の実施、自社株式取得等による株主還元を最重要課題として考えております。従って、業績の推移、業界環境、配当性向を勘案し、併せて経営基盤ならびに企業体質の強化と中長期的な事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案して、配当を決定する方針を採っております。この基本方針に基づき、当期の業績状況および中期経営計画の進捗状況を鑑み、株主の皆様の日ごろのご支援に應えるべく、期末の1株当たり配当予想を普通配当6円増配させていただくこととしました。これにより、2025年2月期の期末配当は39円となる予定です。なお、1株当たり年間配当金は、中間配当金33円と合わせた1株当たり72円となる予定です。

以上